

1年学年だよ

3月号

大阪市立佃中学校1年
令和8年3月2日発行

ウォズとジョブズ

ふたり
2人のスティーブ・・・スティーブ・ジョブズと、スティーブ・ウォズニアック。今から約55年前、2人の若者が自宅ガレージで始めた小さな会社、アップルコンピュータは今、世界で最も賞賛される企業になりました。今回みなさんにご紹介したいのは、2人の間に「とある役割分担」があったことです。

みなさんが知っているあの有名なジョブズは、実は「ものをつくる人」ではありませんでした。発明したり、研究したりする仕事ではなかったのです。それはウォズの役割。ウォズは、天才的なコンピュータ技術者で、アップルⅠ、アップルⅡとよばれる画期的なPCをたった一人でつくりあげました。愉快な人ですがコミュニケーションは苦手でした。

では、ジョブズは何をしたか。

彼がしたのは、「こんなことがしたい、だから、こんな製品をつくって欲しい」と言うこと。そのために必要な技術や人材を集めること。押しが強く口がうまいジョブズは、自分が信じた理想を貫きました。今では、彼の偉大さは言うまでもありません。アップルが、そして世界が、次に進むべき道を指し示し続けました。

ウォズはこう語っています。「ジョブズは私がつくったコンピュータを売ってお金にしてくれました。コンピュータを収益化してくれる、非常に有能なセールスマンでした。新しいプロダクトの機能やカラーについての彼のアイデアは、良かったです。例えば、アップルのロゴにある6つの虹色は、とてもロジカルな色彩です。あれはジョブズが色の順番をちょっとだけ変えている。下の方に濃い色を入れて、一番上に葉っぱを入れたんです。こう聞くと大したことではないと思うかもしれませんが、これは非常に重要なことです。アップルはデジタル回路設計やチップから始まった、完全にエンジニアリング主体の製品でした。でも、ジョブズはエンジニアリングのことについては詳しくなかった。

しかし、マーケティングに強かったため、どうすれば見栄えが良くなるのかを分かっていた。テクノロジーと美意識は、いまでもアップルの重要な部分だと言われています。」

その役割分担。ウォズとジョブズ。技術の人と舵取りの人。アーティストとマネージャー。この2面性は会社などの集団だけでなく、個人にとっても必要なものだと思うのです。

さあ、きみたちはどんな基準で進路を選びますか。ひたすら勉強に励んでテストの点数を、自分の実力をのばすのも必要なこと。でも、数字だけで将来を決めていいのでしょうか。「こんなことがしたい、あんなことが学びたい、だから、その学校に行きたい」と声に出すこと。そのために必要な道筋を選んでいくことも大切だと思うのです。

きみがたどり着きたい場所はどこか。人生をどうデザインするか。そのためには次の中学2年生、何を?どのように?努力していくか。それについてぜひ深く考えてみて欲しいと思うのです。

1年生も残り1か月。今のクラスで登校するのはあと14日

2月19日に職業講話を行いました。マスコミ業界、会社経営者、柔道整復師、有機検査員、ドッグケア、自動車整備士の6名の講師の方に来ていただきました。コースを選び、2名の方のお話をそれぞれ聞くことができました。働くとは、この仕事を選んだ理由。中学卒業後の進路選び。など、貴重なお話を聞かせていただきました。

3月の予定

- 2日(月) 生徒専門委員会
- 9日(月) お別れ会 水123456
- 11日(水) 月654321 5,6限 人権学習
- 12日(木) 午前授業 給食あり (専門委員会生徒は、午後から卒業式準備)
- 13日(金) 卒業式 (委員長と生徒会役員のみ出席)
- 16日(月) 午前授業 給食あり
- 17日(火) 5限目 授業参観 学年懇談会
- 18日(水) 金12345 6限 大清掃 給食なし(弁当持参)
- 19日(木) 午前授業 水1256 給食あり
- 23日(月) 月56 3限集会 4限学活 5限 修了式



4月の予定

- 2日(木) 入学式準備 (専門委員会生徒と生徒会役員は登校)
- 3日(金) 入学式 (委員長と生徒会役員は出席)
- 8日(水) 始業式

